

野球 平成31年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

1回戦 彦根東 8 — 1 東大津

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	R
彦根東	0	1	0	0	4	1	2	8
東大津	0	0	1	0	0	0	0	1

7回コールド勝利



▶ホームに生還した山岡右京君（3-4）



▲雨のなか中谷君は7回を一人で投げ切った。



▲今試合で2安打の好成績を収めた井上君

初戦突破  
一点一点積み重ねた

4月14日に湖東スタジアムで平成31年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の1回戦が行われた。本校は東大津高校と対戦し8-1で勝利した。



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

試合が動いたのは2回表の本校の攻撃、7番の西田乗斗君（3-5）が内野安打で出塁し、盗塁で一気に三塁まで進んでチャンスを作る。その後9番の森野隼人君（3-2）の犠打により三塁走者が生還し本校が先制点を得た。3回裏の相手の攻撃で同点に追いつかれるも、追加点を与えず試合は互角に進む。迎えた5回表の本校の攻撃、相手の送球の乱れにより一点を得た後一死一、三塁の場面で4番の井上人太君（3-8）がセンター前に適時打を放つ。それにより三塁走者が還り一点を、さらに6番の中谷凌君（3-5）のセンター前適時打により走者二人が生還し2点、とこの回だけで4点を追加した。その後も相手の攻撃を抑えながら6-1で迎えた7回表の本校の攻撃、一点を奪い二死一、二塁で8番の松下陽星君（3-4）がレフトへの適時打を決め、二塁走者が生還し、ダメ押し的一点を追加した。7回裏も本校は相手の攻撃を無失点に抑え、8-1で勝利を収めた。

この試合で投打ともに活躍した中谷君は試合を振り返って「昨年の秋の大会ではあまり打てず良い結果を出せなかつたので、それを覆せるように頑張った。冬に練習してきたことを出すだけだと思って打った」と笑顔を見せた。またこの試合で見つかった課題を「守備からリズムを作れるようにし、攻撃時にはチャンスでまず一本が出るようにすること」と打ち明けた。

主将の川嶋清太君（3-5）はこの試合を「チームとしては序盤にリズムを作り切れなかった」と分析し、加えて今後の試合に向けて「一戦一戦を大切にして頑張っていきたい」と意気込みを見せた。

監督の村中隆之先生はこの試合を「初戦ということもあり序盤は硬さが見られたが、中盤から終盤にかけては良い流れだった。最初はとりあえず点を取ることを目指していた。中盤にその目標を達成することができたため目標を新たにし、終盤からはコールド勝ちすることを目指した。ピッチャーに制球のばらつきがあったがそれも初戦ゆえの硬さだったかなと思う」と振り返られた。そして次の試合に向けて「不安もある。こういう試合の流れに持っていききたいというビジョンを思い描きながらプレーできれば良いと思う」と期待を寄せられた。